

読谷小学校 六年一組 比嘉珠理

私は、今から約七十六年前沖縄で起こった沖縄戦について調べました。なぜなら「米軍はなぜ沖縄に上陸したのか」「なんで沖縄で地上戦が行われたのか」などの疑問が出てきました。調べたいと思ったり、平和学習で戦争の恐ろしさを実感できたので「平和」とは何か改めて知りたいと思ったりからです。

私は、チビチリがマとシムクがマに行つての平和学習が心に残っています。なぜなら、今までは戦争の事はあんまり深く考えた事になかったけど、実際その場に行くと先が真っ暗で見えなくてここでたくさんの方が、集団自決をして亡くなったりと思うと、戦争の恐ろしさを実感できました。ニコリスなどで戦争の実際の映像とかが流れてきて米軍による空襲を受けている沖縄を見て、「なんでこんな恐ろしい事を何の意味でやっていたのだろうか」と疑問に思いました。調べたのと、「太平洋戦争で日本を降伏するため米軍は九州や関

東への上陸作戦をしていた。そのための補給拠点として適した沖縄を占領しようと考えた。米軍は四十五年十一月には九州南部、四十六年三月には関東へ上陸する計画だった。これに対し、日本軍は本土での戦いまでの時間を沖縄で稼ごうと持久戦に持ち込んだ結果、約三か月にも及ぶ凄惨な地上戦が沖縄で繰り広げられた。などの原因が挙げられていました。他にも、「死者は日本軍九万四千百三十六人、米軍一万二千五百二十人。さらに推計で約九万四千人の住民が亡くなったとされ、約二十万人が犠牲になった。沖縄県出身の軍人・軍属を含め、県民の四人一人が亡くなったとされる」などが調べて分かりました。

このように沖縄戦について調べてみて、シムクガマに非難して比嘉平治さんや平三さんとかのおかげで命が救われた。という人もいれば、集団自決をして自ら命を絶った。という人もいた。という事を知って、戦争は本当に恐ろしい事だと改めて実感する事ができました。

最近の日本では、戦争がどこでも起こっている
なくてそれは、日本国憲法のおかげで戦争が
起こっていないと社会の授業で知る事ができ
たので、これからも戦争がない日本も続け
てほしいと思っ。たし、他の国の中でも争いが起
こってほしくないなと改めて思いました。